

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	掲載ページ		
本 部	7月25日(水) ~8月2日(木)	第9回水工学に関する夏期研修会 高校土木科教職員を主対象とする夏期講習会	吹田市	本号本文 143 ページ		
	7月30日(月) ~8月1日(水)		仙台市	本号本文 144 "		
	8月11日(土)	映 画 会	土木学会	本号本文 138 "		
	8月21日(火) ~22日(水)	第6回土木計画学講習会	東 京	本号本文 142 "		
	8月29日(水) ~30日(木)		名古屋市	本号本文 142 "		
	8月30日(木) ~31日(金)	第6回土木計画学講習会	広 島 市	本号本文 142 "		
	9月6日(木) ~7日(金)		東 京	本号本文 138 "		
	9月13日(木)	{“海洋鋼構造物設計指針(案)解説”講習会	東 京	本号本文 144 "		
	10月1日(月) ~3日(水)	昭和48年度全国大会	札 幌 市	本号本文 1~48 "		
	11月14日(水) ~15日(木)	第20回海岸工学講演会	名古屋市	本号本文 138 "		
	中 部 支 部	7月20日(金)	講 演 会	名古屋市	6月号本文 122 "	
関 西 支 部	7月26日(木) 8月29日(水)	ケーソン工事の省力化に関する研究会 第6回業務研究発表会	大 阪 市 同	6月号本文 122 " 本号本文 147 "		
中国四国支部	7月27日(金)	{「最近のコンクリート技術の進歩と問題点に関する講習会」 「最近のコンクリート技術の進歩と問題点に関する講習会」	広 島 市	本号本文 147 "		
	7月28日(土)		松 山 市	本号本文 148 "		
西 部 支 部	7月24日(火)	新大村空港建設工事見学会 鳥栖ジャンクション建設工事見学会 昭和48年度夏期講習会 見 学 会	九州地区	本号本文 148 "		
	7月31日(火)		同	本号本文 149 "		
	8月21日(火)		宮 崎 県	本号本文 148 "		
	8月22日(水)		宮崎県, 外	本号本文 148 "		
そ の 他	8月31日(金) ~9月1日(土)	関東地震50周年記念地震工学シンポジウム 第17回材料研究連合講演会 第21回レオロジー討論会 有限要素法東京セミナー 第4回岩の力学国内シンポジウム	東 京	本号本文 139 "		
	9月4日(火) ~5日(水)		同	5月号本文 131 "		
	10月23日(火) ~25日(木)		京 都 市	6月号本文 120 "		
	11月5日(月) ~10日(土)		東 京	本号本文 145 "		
	11月27日(火) ~28日(水)		同	6月号本文 118 "		
	お 知 ら せ		■ 第23回応用力学連合講演会講演募集			6月号本文 115 "
			■ 「構造物の設計に対する解析の諸問題」に関する研究発表会論文募集			本号本文 141 "
■ 第10回衛生工学研究討論会のお知らせ				本号本文 142 "		
■ 第20回風に関するシンポジウム講演募集				本号本文 143 "		
■ 第10回自然災害科学総合シンポジウム講演募集				本号本文 145 "		
■ 第11回高分子と水に関する討論会講演募集				本号本文 146 "		
■ 土木学誌広告料金について				本号本文 149 "		
■ 第1回環境問題シンポジウム開催と発表論文の募集				本号本文 149 "		
■ 本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書			本号本文 150 "			
■ ダム基礎岩盤グラウチング施工実例集お申込みの方へ			本号本文 150 "			
■ “地震応答解析と実例”お求めの方へ			本号本文 150 "			

支 部 所 在 地

北海道支部：郵便番号 060・札幌市中央区南1条西2丁目・長銀ビル5階(電 011-251-7038, 261-7742)
 東北支部：郵便番号 980・仙台市二日町18-25・丸七ビル3階 (電 0222-22-8509)
 関東支部：郵便番号 160・東京都新宿区四谷1丁目・土木学会総務課内 (電 03-351-4133)
 中部支部：郵便番号 460・名古屋市中区栄2丁目17番22号・科学館内 中部科学技術センター (電 052-231-3043)
 関西支部：郵便番号 541・大阪市東区船場中央2丁目2番地・船場センタービル4号館409号 (電 06-271-6686)
 中国四国支部：郵便番号 730・広島市基町10番3号・自治会館内 (電 0822-21-2666)
 西部支部：郵便番号 810・福岡市中央区薬院2丁目14番21号 (電 092-78-3716)

昭和48年度夏期講習会

▶ 9月6日(木)~7日(金) ◀

本年度の夏期講習会は「基礎と地盤」をテーマに下記のとおり開催致しますのでふるってご参加下さいますようご案内致します。

記

1. 期 日：1973年9月6日(木)、7日(金)の2日間
2. 場 所：厚生年金会館小ホール(新宿区番衆町19・TEL 356-1111)
3. 参加費：会員 5000円、非会員 5500円(含テキスト代)
4. テキスト：基礎と地盤(B5判約200ページ)
5. 内 容：
 - (9月6日)
 - 9:50~10:00 開会挨拶 土木学会会長 飯田房太郎
 - 10:00~11:00 基礎地盤の調査 株式会社応用地質調査事務所 大矢 暁
 - 11:00~12:00 土質の解析 早稲田大学 後藤 正司
 - 12:00~13:00 昼食休憩
 - 13:00~14:00 くい基礎の設計 運輸省港湾技術研究所 沢口 正俊
 - 14:00~15:00 くい基礎の施工 株式会社 間組 藤田 圭一
 - 15:00~16:00 ケーソン基礎 本州四国連絡橋公団 吉田 巖
 - (9月7日)
 - 10:00~11:00 盛土の基礎 日本道路公団試験所 中沢 裕
 - 11:00~12:00 岩盤基礎 建設省土木研究所 飯田 隆一
 - 12:00~13:00 昼食休憩
 - 13:00~14:00 軟弱地盤対策 国鉄鉄道技術研究所 室町 忠彦
 - 14:00~15:00 地中構造物と地盤 帝都高速度交通営団 渡辺 健
 - 15:00~16:00 基礎の耐震設計 東京大学生産技術研究所 田村重四郎
 - 16:00~16:15 閉会挨拶 行事企画委員会委員長 森 茂
6. 申込方法：本誌添付の申込書に必要事項を記入のうえ、参加費を添えて8月20日までに申込み下さい。
なお、定員がありますので満員の際はお断りすることがあります。
7. 申 込 先：〒160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会事業課

映画会開催について

▶ 8月11日(土) ◀

1. 場 所：土木学会土木図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目 国電・地下鉄四ツ谷駅下車)
2. 日 時：毎月第2土曜日 14:00~ 8月は11日(土)です。
3. 上映作品：8月は、次の映画を予定しております。
 「諏訪湖汚濁への挑戦」長野県諏訪湖工事事務所・提供
 「水の科学」 (株)日立製作所・提供
 「マックス工法」 西松建設(株)・提供
 なお、上映映画は都合により変更することがございますので、あらかじめご了承下さい。
4. 参加費：無料 土木関係以外の方も歓迎致します。
 本映画会に関する問合せは、土木学会視聴覚教育委員会宛にお願い致します。
 共 催：土木学会関東支部

第20回海岸工学講演会

▶ 11月14日(水)~15日(木) ◀

第20回海岸工学講演会を下記により開催致します。講演申込みを行なった方で採用通知のあった方は7月16日までに原稿を提出して下さい。締切期日に遅れたものは受付られません。

1. 開催期日：1973年11月14日(水)、15日(木)
2. 場 所：第1会場：愛知県産業貿易会館4階第1会議室(名古屋市中区丸の内3丁目1番6号)
 第2会場：愛知県婦人文化会館講堂(名古屋市中区三の丸1丁目2番地)

“関東地震 50 周年記念地震工学シンポジウム” 参加募集

本年は関東地震の 50 周年にあたりますので、50 周年を記念すると同時に地震工学の今後の発展に資すべく記念シンポジウムを催すことになりました。つきましては、標記シンポジウムは、次の要領により開催し、国内および国外の地震工学研究者、技術者の研鑽および研究情報交換の場にいたしたいと存じますので、会員各位には下記要領をご参照のうえ、ふるってご参加下さるようご案内いたします。

共催：地震学会・土質工学会・土木学会（幹事学会）・日本機械学会・日本建築学会

1. 開催期日：1973 年 8 月 31 日（金）、9 月 1 日（土）の 2 日間

2. 会場：ニッショーホール（東京都港区芝西久保
明舟町 18 番地、地下鉄銀座線 虎ノ門駅
下車徒歩 3 分、電 03-580-7052）

3. 定員：500 名

4. 参加費：4 000 円（論文集代を含む）

5. 申込要領：

(1) 申込締切期日：1973 年 8 月 15 日（水）

(2) 申込方法：官製はがき大の用紙に「関東地震 50 周年記念地震工学シンポジウム参加申込み」と必ず明記し、氏名、勤務先、連絡先住所、所属学会、参加項目（シンポジウム、懇親会の別を明記）を記載し、所要の参加費を添えて下記幹事学会へお申込み下さい。なお、なるべく現金書留でお払込み願いたく、銀行送金の場合は振込金受取書の写を参加申込書と一緒にお送り下さい。

(3) 申込先：社団法人土木学会（〒160 東京都新宿区四谷 1 丁目・電話 03-351-5138）

銀行送金：振込銀行 第一勧業銀行四谷支店

口座 普通預金

口座名義 土木学会関東地震 50 周年記念地震工学シンポジウム

(4) 締切期日前でも定員になり次第申込みを締切りますので、なるべく早目にお申込み願います。

(5) 原則として参加申込みの取消しがありましても参加費の払い戻しはいたしませんのでご了承下さい。

(6) 論文集は印刷上の都合により当日会場にてお渡しいたします。したがって、お申込み入金のあるり次第参加券とともに論文集引換券を事前にお送りいたしますので、当日ご参加の際にご持参下さい。

6. 懇親会：参加ご希望の方は会費を添えて、シンポジウム参加申込みと同時に申し込み下さい。ただし、定員になり次第締切ります。

(1) 日時：8 月 31 日（金）18：00 より

(3) 会費：2 500 円

(2) 会場：葵会館（東京都港区赤坂葵町 2-1）

(4) 定員：100 名

7. プログラム：

第 1 日：8 月 31 日（金）

9：00～9：10 開会あいさつ

9：10～10：28 A-1 繰返し載荷による各種鋼材・溶接接合部の破壊挙動 京都大学工学部 金多 潔 ほか

A-2 オンライン動的破壊実験方式 東京大学地震研究所 伯野 元彦

A-3 原子力施設の配管の限界設計に関する考察 三菱重工業（株）神戸研究所 藤田 勝久 ほか

A-4 振動による配管の破壊実験（第 1 報） 東京芝浦電気（株）総合研究所 班目 春樹 ほか

A-5 Coulomb Slip and Yielding of a Structure Subjected to Earthquake Motions

Senior Lecturer, Civil Engineering, Melbourne University. L.C. Schmidt ほか

A-6 振動実験における減衰評価に関する研究 (株) 竹中工務店技術研究所 木下 勝弘 ほか

10：28～10：37 休 憩

10：37～11：55 A-7 鉄筋コンクリート構造要素の履歴減衰能と低層鉄筋コンクリート構造物の耐震設計 への応用 神戸大学工学部 河村 広 ほか

A-8 鉄筋コンクリート柱の崩壊防止に関する総合研究 建設省建築研究所 中野 清司 ほか

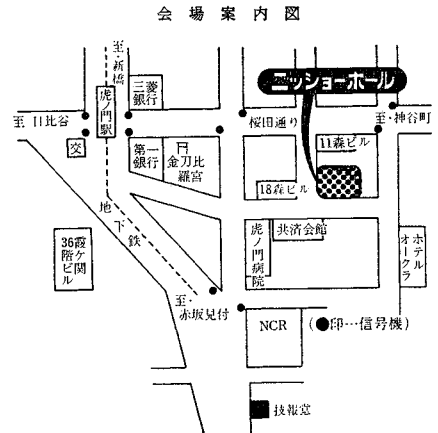
A-9 鉄筋コンクリート構造物の崩壊過程と地震応答性状 早稲田大学大学院 平松 晃 ほか

A-10 衝撃的載荷をうける鉄筋コンクリート構造部材の変形と破壊 防衛大学校土木教室 竹田 仁一 ほか

A-11 Dynamic Behaviour of Reinforced Concrete Frame with Infilling Masonry

Chief of the Seismic Mechanics Division, Geophysical Institute. S. Sachanski ほか

A-12 公共量産住宅の耐震安全性評価に関する研究 建設省建築研究所 岡本 伸 ほか



- 11:55~12:45 昼食・休憩
- 12:45~14:55 B-1 等価バネ・マス系による建物と地盤の相互作用解析 (株)日建設計 今村 純也 ほか
 B-2 Soil-Substructure Interaction Effects on the Seismic Response of Buildings 早稲田大学理工学部 桜井 謙爾 ほか
 B-3 弾性地盤上の構造物群の連成運動 名古屋大学工学部 多賀 直恒 ほか
 B-4 軟弱地盤上杭支持建物の動特性 鹿島建設(株)技術研究所 太田外気晴 ほか
 B-5 埋立軟弱地盤にたつ杭支持建物の地震動観測 大成建設(株)技術開発部 河村 壮一 ほか
 B-6 Estimation of Dynamic Behaviors of Soil Layer-Pile Foundations Interaction System During an Earthquake 建設省建築研究所 杉村 義広
 B-7 On the Relationship Between Soil Conditions and Building Damage in the Tokachi-Oki Earthquake of May 16, 1968 広島大学工学部 嶋津 孝之 ほか
 B-8 十勝沖地震(1968)における高架橋の被害 国鉄構造物設計事務所 森重 龍馬 ほか
 B-9 地盤と埋設構造物の振動性状 建設省建築研究所 岩崎 敏男 ほか
 B-10 沈埋トンネルに於ける地震時の歪の観測 東京大学生産技術研究所 田村重四郎 ほか
- 14:55~15:03 休 憩
- 15:03~17:00 B-11 浸水した砂の振動土圧 名古屋大学工学部 市原 松平 ほか
 B-12 薄層要素による地下壁にかかる振動土圧の解析 千代田化工建設(株)研究所 山本 鎮男 ほか
 B-13 地盤の非線形挙動を考慮した振動土圧 京都大学大学院 佐藤 忠信 ほか
 B-14 粘弾性層地盤上の構造物群の振動特性 京都大学防災研究所 日下部 豊 ほか
 B-15 非線形地盤連成を考慮した多層構造物の地震応答 大阪大学工学部 上野 豊 ほか
 B-16 地震動の位相差および地盤一構造物の相互作用を考慮した地震応答 東京理科大学理工学部 井口 道雄
 B-17 建築物の振動勢力の地下透散性に関する一考察 日本大学生産工学部 金井 清
 B-18 建物と地盤の相互作用に関する基礎的研究 (株)竹中工務店技術研究所 野島 治
 B-19 Forced Vibrations of Rigid Bodies Resting on the Surface of the Ground Soil 工業技術院機械技術研究所 二井 義則

第 2 日 : 9 月 1 日 (土)

- 9:00~9:55 特別講演-1 耐震土木工学の進歩をかえりみて 東京大学名誉教授 岡本 舜三
 9:55~10:50 特別講演-2 題目未定 東京大学名誉教授 坪井 忠二
- 10:50~11:00 休 憩
- 11:00~11:55 特別講演-3 RC造建物の地震一過去をかえりみて一 東京大学名誉教授 武藤 清
 11:55~13:00 懇 話 会
 13:50~14:57 B-20 長大橋基礎一地盤系の動的特性 建設省土木研究所 栗林 栄一 ほか
 B-21 On Movements of a Rigid Body in Semi-Infinite Elastic Medium 東京大学工学部 大崎 順彦
 B-22 建物-Sway, Rocking一表層地盤系のモデル化に関する研究 早稲田大学理工学研究所 風間 了 ほか
 B-23 地盤構造物連成系における減衰効果の導入法について (株)竹中工務店技術研究所 対馬 義幸 ほか
 B-24 地盤一構造物基礎系の相互作用に関する考察 京都大学工学部 吉原 進 ほか
 B-25 構造物内での強震記録から推定した基盤の地震波 神戸大学工学部 水畑 精治 ほか
 B-26 地盤構造物系のモデル化についての一方法 佐賀大学理工学部 荒牧 軍治 ほか
 B-27 構造物基礎のランダム応答に関する実験的研究 京都大学工学部 北浦 勝 ほか
 B-28 構造物基礎の動的ばね係数と減衰定数 京都大学防災研究所 土岐 憲三 ほか
- 14:57~15:08 休 憩
- 15:08~17:05 C-1 層状地盤の波動伝播問題一 M_1 波, M_2 波の場合一 建設省建築研究所 水野二十一 ほか
 C-2 The Influences of Non-Linear Material Properties, Reservoir Conditions, and Differences of Ground Motions on the Behavior of Rock Fill Dams During Earthquakes 電力中央研究所技術第2研究所 渡辺 啓行
 C-3 構造物一基礎一地盤系モデルとその動的解析 鹿島建設(株) 小林 俊夫 ほか
 C-4 Elasto-Plastic Dynamic Response of Foundations by Finite Element Method 鹿島建設(株)技術研究所 松本 喬 ほか
 C-5 動的粘性を考慮した三次元地盤と地上構造物の地震時連成震動解析(地盤の軟質性と動的応答の関係および半地下収納による制震効果) 電力中央研究所技術第2研究所 林 正夫 ほか
 C-6 鉄筋コンクリート部材の弾塑性解析 (株)武蔵構造力学研究所 津川 恒久 ほか
 C-7 有限要素法によるフィルタイプ防波堤の地震応答計算と観測結果の比較 運輸省港湾技術研究所 土田 肇 ほか
 C-8 土木構造物の地震応答計算に有限要素を適用した2,3の例について (株)大林組技術研究所 後藤 洋三
 C-9 非比例減衰を有する多自由度系の不規則応答解析とその長大つり橋タワー, ピアー系への応用 京都大学工学部 竹宮 宏和 ほか
- 17:05~17:15 閉会あいさつ

注:1. 講演時間は, 1 論文討議を含め 13 分の予定です。
 2. 紙面の都合により講演者のみ掲載致しましたのでご了承下さい。

「構造物の設計に対する解析の諸問題」に関する研究発表会論文募集

(第 20 回 橋梁・構造工学研究発表会)

例年行なわれております橋梁・構造工学研究発表会を本年度は標題のテーマにより、下記のとおり開催致します。多数の方がふるって論文提出にご応募下さい。なお、今回は昨年のようなパネル討論会のほか、一般報告も企画してみたいと考えております。

記

1. 期 日：1973 年 11 月 13 日 (火)
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 主 催：日本学術会議構造研究連絡委員会・土木学会・日本建築学会
4. テーマの内容：

近年、有限要素法の応用、電子計算機の効果的利用などともなって構造解析は一段と高度化、精緻化してきた。他面、そのような解析結果の設計への反映、実構造物の挙動との関連などの点においてはまだ、問題が多く残されており、反省すべき点も少なからず存在すると考えられる。このような観点から、設計のための解析という見地に立って、次の 4 つのサブテーマに適合する研究発表を対象とする。

(1) 解析方法または解析計算の評価

- a) 数値解析におけるモデル化の妥当性、精度の評価、あるいはどのような条件において有限要素法、マトリクス解析、差分法などがその長所を発揮するのか、というような問題。
- b) 設計に反映されうるような実験解析手法とそれに関連した問題。
- c) 構造、材料の非線形解析あるいは立体解析を行なった場合、設計条件あるいは設計結果との関連。
- d) 自動設計あるいは Computer-aided Design なる手法が近年開発されつつあるが、それが設計に反映される場合の問題。

(2) 実際構造物の挙動と解析仮定の評価

実際構造物の挙動の実測あるいは調査の結果から、解析の仮定あるいは解析計算の精度などを論じたもの。

(3) 異種構造要素間の相関性解析の評価

- a) 上部構造と下部構造または基礎との相関
上部構造の解析は独立して扱われることも多いが、それを支持する下部・基礎構造の影響を解析に考慮した場合、設計の結果にどのように反映されるか。
- b) 異種構造要素間の相互作用の設計への影響

たとえば橋梁では主部材と二次部材との相関、あるいは建築ではコア、骨組み、スラブ間の変形適合性にもとづく相互作用を考慮した解析を行なう場合、おのおの独立に扱った場合に比べて設計にどのような差異を生じるか、あるいはどのような影響を互いに及ぼし合うか。

(4) 二次的効果の設計解析における評価

いわゆる二次応力の役割、有限変形の影響などは構造物の大型化、複雑化、複合化にもなって設計上重要な影響をもたらす場合がある。これらの影響に関連した諸問題を扱う。

5. 申 込 要 領：

- 1) 7 月末までに論文題目、発表者氏名(連名の場合、登壇者に○印を付ける)、勤務先および連絡先と、100 字程度の内容梗概を添えて、所属学会宛お申込み下さい。
- 2) 採否は日本学術会議構造研究連絡委員会にお任せ願います。採用のうちは、9 月 20 日までに講演原稿の提出をお願いすることになります。
- 3) 発表された研究はさらに選考のうえ、欧文論文集として刊行すべく、論文原稿の執筆をお願いすることがあります。

第6回土木計画学講習会

▶ 東京会場 8月21日(火)～8月22日(水) ◀
 ▶ 名古屋会場 8月29日(水)～8月30日(木) ◀
 ▶ 広島会場 8月30日(木)～8月31日(金) ◀

「土木計画における費用便益分析」と題しまして開催いたしました昨年の第5回講習会に引き続きまして、本年は「施工の計画・管理に対する科学的接近」について講習会を開催いたします。

本年の講習会は、近時土木技術者の活動の場において強く要望される施工の計画・管理について各界の第一線の方々をお願いして講演していただく有意義なものでございまして、建設省の土木施工管理技術士制度を補完する性格ももたせました。

新しい時代の土木技術者として、常日頃要求される技法を修得・補正する良い機会でもございますので、ふるってご参画方ご案内いたします。

なお、今回は講習の内容が広く、かつ現場の土木技術者、第一線の土木技術者向けに構成されております関係から会場を3か所といたしましたので、ご都合のよろしい会場をお選びいただけるものと存じます。

1. 主 題：施工の計画・管理に対する科学的接近
2. 主 催：土木学会土木計画学研究委員会
3. 共 催：土木学会中部支部、同中国四国支部
4. 期 日：会場・定員

▶ 東京会場：1973年8月21日(火)～8月22日(水)、於・土木学会講堂、定員180名

▶ 名古屋会場：1973年8月29日(水)～8月30日(木)、於・名古屋市中区役所ホール、定員400名

▶ 広島会場：1973年8月30日(木)～8月31日(金)、於・中電本社会議室、定員200名(予定)

注：各会場とも定員になりしだい締切ります(先着順受付)。

5. プログラム：

◀第1日▶ 9:30～9:40 (10') 開会あいさつ

9:40～11:30 (110') 施工の計画・管理における情報処理の問題 中村 慶一(東洋大)

12:30～15:00 (150') 施工の計画・管理における品質の問題 成田 久夫(建設省)

15:00～16:30 (90') 施工の計画・管理における安全の問題 加来 利一(労働省)

◀第2日▶ 9:30～12:00 (150') 施工の計画・管理における工程の問題 宮内 敬保(東海大)・宇津橋昭八郎(首都公)

13:00～14:30 (90') 施工の計画・管理における原価の問題 本山 齋(建設省)

14:30～16:00 (90') 施工の計画・管理における積算・見積りの問題 岡田 宏(国鉄)

6. 参加費：会員 @ 3500円、会員外 @ 4000円(ただし、テキスト代を含む)

7. 申込み方法：参加ご希望の方は3会場とも別紙申込用紙をご利用のうえ参加費を同封し、現金書留にて申込んで下さい。ただし、前金不能の際は、上記用紙にてその旨明記のうえ普通便にて申込んで下さい。
 ① 氏名、② 所属機関および職名、③ 連絡先[郵便番号、住所(職場/自宅・明記のこと)、氏名]、④ 会員区分、⑤ 参加会場名、⑥ その他。(今月号のみ申込用紙添付)。

送付先：〒160 東京都新宿区四谷1丁目

土木学会事務局土木計画学講習会係(電話 03-351-5130 番)

第10回衛生工学研究討論会のお知らせ

本年度の衛生工学研究討論会は土木学会講堂にて1974年1月28日より30日の間に行なう予定ですので関心のある方はご準備下さい。

本年は『水の高度浄化』に関するセミナーと自由題目の2種類の論文を募集いたします。水の高度浄化に関するセミナーは技術(ハードウェア)と考え方(ソフトウェア)を中心とする2つのグループに分けて行なう予定です。セミナーを対象に応募された論文でも組合せの都合上自由題目の部で発表をお願いすることもありますのでご了承下さい。

原稿締切は9月15日とし、原稿は本会所定のオフセット用原稿用紙6ページといたします(ページ数を厳守のこと)ので必要な方はお申下下さい。

第9回水工学に関する夏期研修会

▶ 7月25日(水)~8月2日(木) ◀

第9回水工学に関する夏期研修会を下記により開催いたしますのでふるってご参加下さいますようお願いいたします。

1. 開催期日：1973年7月25日(水)~8月2日(木)
2. 会場：大阪大学工学部図書館視聴覚ホール(冷房完備)
(吹田市山田上 Tel. 068-78-5111 阪急・千里線終点北千里下車徒歩15分)
3. 対象：大学卒業程度
4. 題目・講師および日程：(題目は多少変更することがあります)

Aコース：7月25日(水)~7月28日(土)			
7月25日(水)	9:00~9:30	受付	
	9:30~12:00	水資源計画方法論	大阪大学教授 室田 明
	13:30~16:30	水管理と環境	京都大学教授 岩佐 義明
7月26日(木)	9:00~12:00	水量制御と貯水池操作	京都大学教授 石原 安雄
	13:30~16:30	流域の変遷をめぐる人間と川	東京大学教授 高橋 裕
7月27日(金)	9:00~12:00	最近の河川改修の動向—淀川を例として—	建設省近畿地建院川工事事務所長 長尾 精
	13:30~16:30	都市河川の諸問題—寝屋川水系を中心として—	大阪府土木部都市河川課長 那智 俊雄
7月28日(土)	9:00~12:00	降水と流域斜面の安定	神戸大学教授 田中 茂
	13:30~16:00	(特別講義)	東京工業大学教授 吉川 秀夫
Bコース：7月31日(月)~8月2日(木)			
7月30日(月)	9:00~9:30	受付	
	9:30~12:00	密度流について—海洋における内部波—	東京大学地震研究所江の島津波観測所長 梶浦欣二郎
	13:30~16:30	砕波特論	大阪大学教授 榎木 亨
7月31日(火)	9:00~12:00	海岸土砂収支と海浜変形	京都大学教授 土屋 義人
	13:30~15:00	海岸浸食対策	建設省土木研究所河川部長 豊島 修
	15:00~16:30	港湾構造物の設計の自動化	運輸省港湾技術研究所設計基準課長 中山 種清
8月1日(水)	9:00~12:00	海岸堤防の水理	徳島大学教授 三井 宏
	13:30~15:00	構造物の流体力弾性応答	大阪大学教授 小松 定夫
	15:00~16:30	船体振動と付加質量	大阪大学教授 松浦 義一
8月2日(木)	9:00~12:00	海中橋脚の諸問題	本四連絡橋公団神戸調査事務所長 相良 正次
	13:30~16:00	(特別講義) 波の制御に関する諸問題	京都大学教授 岩垣 雄一
5. 定員：Aコース 100名・Bコース 100名
6. 参加費：1コースにつき8000円(テキスト代を含みます)
7. 申込方法：受講希望者は、①氏名、②勤務先および職名、③連絡先住所、④コース名を明記のうえ参加費(現金書留)を添えてお申込み下さい。
8. 申込先：社団法人土木学会事業課(郵便番号160 東京都新宿区四谷1丁目 電話 東京(03)351-5138)

第20回風に関するシンポジウム講演募集

標記シンポジウムを下記により開催致しますので講演ご希望の方はふるってご応募下さい。

1. 期日：1973年11月28日(水)
2. 会場：気象庁講堂(東京都)
3. 共催学会：地震学会・土木学会・日本海洋学会・日本気象学会・日本建築学会・日本航空宇宙学会(幹事学会)・日本地理学会・日本農業気象学会・日本林学会
4. 講演申込締切期日：1973年8月31日
5. 講演申込方法：題目、講演者氏名(連名の場合は講演者に○をつける)、勤務先、連絡先住所を明記し、100字程度の内容梗概を添付して幹事学会(日本航空宇宙学会)または所属学会宛お申込み下さい。
6. 講演時間：1講演15分程度
7. その他：前刷集は作成致しませんのでご了承下さい。

高校土木科教職員を主対象とする夏期講習会(昭和48年度)開催案内

1. 主 テ ー マ : 土木工事の積算
2. 主 催 : 土木学会高校土木教育研究委員会・東日本高校土木教育研究会・西日本高校土木教育研究会
3. 後 援 : 土木学会東北支部
4. 期 日 : 1973年7月30日(月), 31日(火), 8月1日(水)
[ただし, 8月1日は希望者による見学会]
5. 会 場 : 仙台共済会館(住所: 仙台市錦町1丁目8番地17号 電話 0222-25-5201)
6. 参 加 費 : 学校関係者 2500円(テキスト代・見学科含む)
一 般 3000円(" ")
7. 定 員 : 130名(学校関係者を優先, 一般若干)
8. 申込み期日: 定員になり次第締切ります
9. 申込み方法: 参加希望者は ①氏名, ②勤務先, ③所属, ④同住所, ⑤同電話番号を記入(様式自由)の上, 参加費といっしょに現金書留便にて次へお申込み下さい(ただし, 払い込まれた参加費は原則としてご返金致しません)。
10. 申 込 先 : 学校関係者: 〒983 仙台市原町南目字上南田 11-2
宮城県立仙台工業高等学校・土木科 伊藤春夫教諭あて
一 般: 〒160 東京都新宿区四谷一丁目 社団法人 土木学会 事務局 編集課あて
11. 講師およびプログラム:
第1日目(7月30日)
9:00 開 場
9:30~10:00 あいさつ 花房 保(土木学会高校土木教育研究委員会委員長)
10:00~12:00 「積算の概要」 会津 正人(建設省東北地建技術管理課長)
13:00~16:30 「積算における電算システム」 渡辺 保雄(同 施工調査係長)
第2日目(7月31日)
9:30~10:00 「演習にあたっての説明」 星川 聡(同 基準係長)
10:00~12:00 演習その1(手計算による) 同
13:00~16:30 演習その2(電算による) 同
12. 見 学 会 : (8月1日)(希望者は受講申込みの際「見学希望」と明記して下さい)
見学予定地: ①松島, ②北上大堰, ③東北高速道路工事現場
コース・時間等につきましては, 参加希望者に後日ご連絡申し上げます。

“海洋鋼構造物設計指針(案)解説”講習会

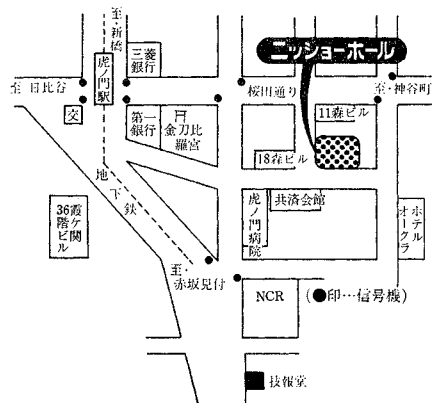
▶ 9月13日(木) ◀

土木学会では, 鋼材倶楽部の委託により昭和46年度より“海洋構造物に関する調査研究”を行っておりますが, このたび“海洋鋼構造物設計指針(案)解説”が調査研究の成果としてまとまりました。つきましては, 標記講習会を下記により開催いたしますので, 多数ご参加下さいませようご案内いたします。

- 主 催 : 土木学会 後援: 鋼材倶楽部
1. 期 日 : 1973年9月13日(木)
 2. 会 場 : ニッショーホール(東京都港区芝西久保
明舟町18番地, 地下鉄銀座線虎ノ門下車, 電話 03-580-7052)
 3. 参加費: 会 員 2500円(テキスト代を含む)
非会員 3000円(" ")
- ◎テキスト: B5判 220ページ, タイプオフセット印刷

1章 総則/2章 荷重, 外力等設計条件/3章 材料および許容応力度/4章 地盤および基礎の設計/5章 構造

<会場略図>



物の設計 / 6章 浮上時の安定

4. 定 員 : 500 名
5. 申 込 方 法 : 参加ご希望の方は、別紙申込書をご利用のうえ、参加費を同封し、現金書留便にて下記宛お申込み下さい。なお、定員がありますのでなるべく早目にお申込み下さい。
6. 申込締切期限 : 1973 年 9 月 3 日 (月)
7. 申 込 先 : 〒160 東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会事業課 電話 03-351-5139
8. 題目および講師 :
- | | | |
|-------------|----------------------|--------------------------|
| 9:30~9:40 | 開会あいさつ | |
| 9:40~10:40 | 波および波力について | 運輸省港湾技術研究所 合 田 良 実 |
| 10:40~11:30 | 波力以外の外力 | 京都大学防災研究所 土 屋 義 人 |
| 11:30~11:40 | 休 憩 | |
| 11:40~12:10 | 地盤および基礎の設計 (4.8) | 電力中央研究所技術第 2 研究所 渡 辺 啓 行 |
| 12:10~13:10 | 昼食・休憩 | |
| 13:10~14:10 | 地盤および基礎の設計 (4.1~4.7) | 本州四国連絡橋公団設計第 2 部 吉 田 巖 |
| 14:10~14:50 | 材料および許容応力度 | 本州四国連絡橋公団設計第 1 部 太 田 実 |
| 14:50~15:05 | 休 憩 | |
| 15:05~15:45 | 構造物の設計 (5.1~5.2) | 大成建設(株)技術開発本部 湯田坂 益 利 |
| 15:45~16:25 | 構造物の設計 (5.3) | 埼玉大学理工学部 秋 山 成 興 |
| 16:25~16:55 | 浮上時の安定 | 三菱重工業(株)広島造船所 佐 竹 優 |
| 16:55~17:00 | 閉会あいさつ | |

第 10 回自然災害科学総合シンポジウム講演募集

文部省科学研究費(自然災害特別研究)による「自然災害科学総合研究班」(研究代表者 矢野勝正教授)が中心となり、下記により自然災害科学総合シンポジウムを開催いたしますので、ふるってご参加下さるようご案内致します。

記

1. 期 日 : 1973 年 10 月 13 日 (土)~14 日 (日) 9.00~17.00
2. 場 所 : 福岡市東区箱崎町 九州大学工学部
3. 講演申込要領 :
 - (1) シンポジウムテーマ : 下記のテーマを取り上げますから、これに沿った論文を募集します。
 - A. 選定課題 : 1) 台風集中豪雨雪とその防災計画モデル, 2) 寒冷地災害発生機構と対策, 3) 建物地物の影響を受けた強風の極値, 4) 土砂の流送運搬それに伴う自然環境の変化, 5) 地すべり・山くずれの発生予測と対策, 6) シラス地帯の災害と対策, 7) 軟弱地盤海岸埋地地盤の震害と対策, 8) 大規模開発に伴う環境の変化と災害の予測及び対策, 9) 海岸における波の制御, 10) 河川堤防護岸の災害発生条件と対策
 - B. 自由課題 : 異常気象・強風災害・雪氷災害・河川災害・海岸津波災害・地盤災害・地震動災害・地震・噴火予知・農林災害・その他
 - (2) 講演論文締切 : 講演論文申込み : 締切 1973 年 7 月 31 日
論文原稿提出 : 締切 1973 年 8 月 31 日
所定用紙 2 枚 (3 200 字) または 4 枚 (6 400 字)
講演申込み用紙, 原稿用紙は請求次第送付
 - (3) 申込み, 原稿提出先 : 郵便番号 812 福岡市東区箱崎町 九州大学工学部水工土木学教室 篠原謹爾教授 電話 092-64-1101 内線 3402

1973 有限要素法東京セミナー (1973 Tokyo Seminar on Finite Element Analysis)

日本鋼構造協会, 土木学会, ほか関連学会の共催により標記のセミナーを開催致しますのでお知らせします。なお詳細については日本鋼構造協会へお問合せ下さい (電 03-212-0875~7)。

1. 日 時 : 1973 年 11 月 5 日 (月)~10 日 (土) の 6 日間

2. 会 場：General Sessions；ホテル高輪（東京都港区高輪 2-1-17） 電話 443-9251
 Technical Sessions；食糧会館（東京都千代田区麹町 3-3） 電話 263-0311
3. 定員および参加費：General Sessions 150 名（1 名 3 日間 30 000 円）
 Technical Sessions 100 名（1 名 3 日間 30 000 円）
4. テキスト：上記二つの Sessions で発表の約 35 編の論文を編集した書籍形式の論文集（約 800 ページ，割引き予備 5 000 円）をテキストとして使用します。
5. 説 明：General Sessions：ここでは主として海外からの 12 名の専門家が，有限要素法の各分野における最近の研究および将来の動向について，Survey 的な講演をいたします。
 主な講演予定者は下記のとおりです。

・非線形問題	R.H. Gallagher	(Cornell University, U.S.A.)
・有限要素法の数学的基礎	J.T. Oden	(University of Alabama, U.S.A.)
・汎用プログラムの開発	P.V. Marçal	(Brown University, U.S.A.)
・固有値問題の解析	K.K. Gupta	(Jet Propulsion Laboratory, U.S.A.)
・NASTRAN における Sparse Matrix の取扱い	C.W. McCormick	(Mac Neal-Schwendler Corporation, U.S.A.)
・有限要素法の流体力学への応用	P.H. Horrie	(University of Calgary, Canada)
・有限要素法と自動車構造設計	L. Nagy	(Ford Motor Company, U.S.A.)
・土および岩盤力学	J.L. Meek	(University of Queensland, Australia)
・固有値解析の誤差	A.K. Rao	(Indian Institute of Science, India)
・振動問題と材料非線形	P.N. Murthy	(Indian Institute of Technology, India)

Technical Sessions：ここでは有限要素法に関する研究について内外の代表者が約 35 編の論文を発表し，討論およびアイデアの交換を行なうことが主な目的となっています。この Session にご希望の方は，有限要素法に関するかなりの経験と知識を持たれることを参加の優先の条件とする場合が考えられます。

6. 申 込 み：あらかじめ下記申込様式にしたがって，予備申込みをして下さい（これは予備申込みですので正式申込みについては別途申込用紙を送付いたします）。

予備申込締切日：1973 年 8 月 31 日（金）

申 込 先：〒100 東京都千代田区丸の内 3-3-1 新東京ビル 848

日本鋼構造協会 1973 有限要素法東京セミナー組織委員会

申 込 様 式：

1973 有限要素法東京セミナー 予備申込書

機 関 名		申 込 責 任 者 名	
所 在 地		電 話	
No.	申 込 者 氏 名	申 込 Session (Session 別に○印をお付け下さい)	
		General Session,	Technical Session
		テキスト必要部数	部

第 11 回高分子と水に関する討論会講演募集

土木学会，ほか関連学協会の共催により標記の討論会の講演募集を行なっております。

- 日 時：1973 年 11 月 16 日（金） 10.00～17.00
- 会 場：日本化学会講堂（東京都千代田区神田駿河台 1-5）
- 対 象：募集内容は 1) 高分子を含めた各種材料に対する水分，ガス，蒸気などの収着，拡散，透過，ぬれ，防水，防湿，乾燥などの基礎および応用に関するもの， 2) 高分子を含めた各種材料の性質（電気的，力学的帯電など）におよぼす水分の影響に関するもので，講演は，既発表のものでもさしつかえないが，十分討論できる内容のものであること。
- 研究発表の申込要領：研究題目，研究者名（講演者に○印），勤務先，連絡先，スライド使用の有無，講演時間（20 分以内）を明記し下記あて 7 月 20 日までに申し込むこと。
- 講演要旨作成要領：研究発表申込者に，高分子学会より指定原稿用紙を送付するので，約 3 000 字にまとめ

9月20日までに下記あて送付のこと。

6. 申込先：〒104 東京都中央区銀座 5-12-8 高分子学会 高分子と水に関する研究委員会 藤沢ひろ子
電話 東京 (03) 543-7857

関西支部行事案内 (郵便番号 541 大阪市東区船場中央 2 丁目 2 番地 船場センタービル 4 号館) 409 号 電 06-271-6686 振替口座 大阪 82599

第 6 回 (昭和 48 年度) 業務研究発表会

▶ 8 月 29 日 (水) ◀

共催：建設コンサルタンツ協会大阪支部・建設技術資料センター
後援：土木学会関西支部

1. 日 時：1973 年 8 月 29 日 (水) 9.30~17.50
2. 会 場：大阪科学技術センター 電話 大阪 (06) 443-5321 番
大阪市西区靱 1 丁目 118 番地 (地下鉄四ツ橋線本町下車北へ 150 m 靱公園北東角)
3. プログラム：
 - 特別講演部会 (小ホール)
 - 13.00~14.00 地下水談義 京都大学工学部 松尾新一郎
 - 第 1 部会 (406 号室)
 - 9.45~12.00 業務研究発表講演 5 題
 - 第 2 部会 (406 号室・小ホール・404 号室)
 - 9.30~16.25 各研究委員会の発表報告 6 題
 - 第 3 部会 (403 号室・405 号室)
 - 9.45~17.50 映画・スライド 27 編
4. 聴 講：無料，資料無料提供 (ただし部数 200 部限り 先着順)
5. 申込方法：参加希望者は、はがきに氏名・勤務先・連絡先 (住所・電話番号・所属部課名等) をご記入のうえ、1973 年 8 月 15 日 (水) までに下記あてお送りください。
整理のうえ、参加ならびに資料引換え章を返送いたします。
6. 申込先：(社) 建設コンサルタンツ協会大阪支部/建設技術資料センター
第 6 回 (昭和 48 年度) 業務研究発表会実行委員会
(郵便番号 530) 大阪市北区与力町 1-15 北末広ビル 電話 大阪 (06) 351-9369 番

(付) テキスト頒布について

構造工学—長大橋梁の諸問題—	頒価 2 200 円	送料 130 円
騒音振動公害—測定と評価の問題点とその動向	” 1 500 円	” 130 円
土木工事における土中水の扱い方	” 900 円	” 130 円
工事の安全対策	” 600 円	” 130 円
近畿開発と大型土木プロジェクト	” 350 円	” 100 円
写真測量とその応用	” 700 円	” 130 円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部へお申込みください。

中国四国支部行事案内 (郵便番号 730 広島市基町 10 番 3 号 自治会館内) 電話 0822-21-2666

最近のコンクリート技術の進歩と問題点に関する講習会

- 主 催：日本材料学会中国四国支部
共 催：土木学会中国四国支部，日本建築学会中国支部・四国支部
協 賛：中国生コンクリート協会，四国生コンクリート協会，コンワ会

○中国地区広島会場

1. 期日および場所：1973 年 7 月 27 日 (金) 広島市基町 5 番 44 号 広島商工会議所ビルディング会議場
2. 題目および講師：

9:30~9:40	開会挨拶	日本材料学会中国四国支部長・土木学会理事	荒木 謙一
9:40~10:50	新しいセメントの特性と利用の方向		徳島大工 荒木 謙一
10:50~12:00	早期脱型技術の進歩		徳島大工 河野 清
13:00~14:10	海砂利用の問題点と対策		広島大工 船越 稔
14:10~15:20	コンクリート技術の進展と設計施工上の問題点		京都大工 森田 司郎
15:30~16:40	新しいコンクリート用化学湿和剤		京都大工 小柳 洽

○四国地区松山会場

1. 期日および場所: 1973年7月28日(土) 松山市二番町4丁目4 愛媛県建設会館

2. 題目および講師:

9:30~9:40	開会挨拶	日本材料学会中国四国支部長・土木学会理事	荒木 謙一
9:40~10:50	コンクリート技術の進展と設計施工上の問題点		京都大工 森田 司郎
10:50~12:00	新しいコンクリート用化学湿和剤		京都大工 小柳 洽
13:00~14:10	新しいセメントの特性と利用の方向		徳島大工 荒木 謙一
14:10~15:20	海砂利用の問題点と対策		愛媛大工 松木 三郎
15:30~16:40	早期脱型技術の進歩		徳島大工 河野 清

▶受講料(テキスト代含む): 2000円(当日会場にて徴収)

▶定員(1会場につき): 200名

▶講習会参加申込み先: 〒700 岡山市津島 岡山大学工学部機械工学教室内 日本材料学会中国四国支部

西部支部行事案内 (郵便番号 810 福岡市中央区薬院2丁目14番21号)
電話 092-78-3716

(1) 昭和48年度夏期講習会

▶ 8月21日(火) ◀

1. 期 日: 1973年8月21日(火)
2. 会 場: 宮崎県えびの えびの高原ホテル別館
3. 参 加 料: 2000円(テキスト代を含む)
4. 宿泊予約料: 1000円(1泊2食 2500円)
5. 申込方法: 参加者氏名, 勤務先または住所, 宿泊日(20日, 21日)記入のうえ, 参加料, 宿泊予約料を同封して申込みのこと。不参加の場合返金しません。ただしテキストは送ります。
6. 申込期限: 1973年8月6日(月)
7. 定 員: 150名
8. 申 込 先: 福岡市中央区薬院2丁目14-21 〒810 土木学会西部支部
9. 会 場 案 内: 吉都線小林駅下車, バスえびの高原行
10. 講習会プログラム:(順序不同)

県下の土木事情について(仮題)	宮崎県土木部長	本 田 勇
超高速鉄道の開発について	九州大学教授	沼 田 実
流域下水道について	宮崎大学助教授	渡 辺 義 公
切土箇所に設けられる擁壁	長崎大学教授	伊 勢 田 哲 也
九州縦貫自動車道宮崎線について	日本道路公団福岡建設局小林工事々務所長	田 尻 賢 英
橋梁の架替について(大淀川)	建設省宮崎工事々務所長	西 山 友 昌
宮崎港の計画について	運輸省宮崎港工事々務所長	森 平 倫 生
課外・体操の体験を語る	社団法人土木学会西部支部主事	藤 田 市 郎

(2) 見学会案内(夏期講習会後)

▶ 8月22日(水) ◀

1. 期 日: 1973年8月22日(朝, 講習会場出発)
2. 見学コース: 宮崎コース; 小林市高速自動車道工事~宮崎市~橋橋架替工事見学~宮崎駅前 12.00(頃)解散
鹿儿岛コース; 鹿儿岛空港見学~西鹿儿岛駅前 12.00(頃)解散
3. 参 加 料: 両コース共 800円
4. 申込方法: 夏期講習会申込書に見学コース記入 参加料同封のこと。
5. 申込期限: 1973年8月6日 両コース共 50名

(3) 新大村空港建設工事見学会

▶ 7月24日(火) ◀

1. 期 日: 1973年7月24日(火)(小雨決行)

2. 集合および解散場所・時刻：当日 12 時 30 分までに国鉄諫早駅前集合のこと
見学行程：諫早駅前発～フェリーボートにより箕島上陸～空港建設工事見学，諫早駅前 17：00（頃）解散
3. 参加費：600 円（当日支払のこと）
4. 申込締切：1973 年 7 月 16 日まで（定員 35 名（自動車による随行おことわり））
5. 申込方法：参加申込書に返信用往復はがき（住所氏名郵便番号記入）同封のうえ申込むこと。
6. 申込先：福岡市中央区薬院 2 丁目 14-21 土木学会西部支部

（４）鳥栖ジャンクション建設工事見学会

▶ 7 月 31 日（火）◀

1. 期 日：1973 年 7 月 31 日（火）（小雨決行）
2. 集合および解散場所・時刻：当日・西鉄久留米駅バスセンター 0 番乗場へ 11：00 までに集合
行程：インターチェンジ工事見学，竣工せる新田大橋（福岡県大川市）通過，西鉄久留米駅前 16 時 00 分（頃）解散
3. 参加費：1000 円（弁当共）（当日支払のこと）
4. 申込締切：1973 年 7 月 23 日まで（定員 50 名（自動車による随行おことわり））
5. 申込方法：参加申込書に返信用往復はがき（住所氏名郵便番号記入）同封のうえ申込むこと。
6. 申込先：福岡市中央区薬院 2 丁目 14-21 土木学会西部支部

「土木学会誌」広告料金について

土木学会誌は大正 4 年 2 月（1915 年 2 月）に第 1 巻第 1 号を発行して以来，本年度で 58 年目を迎えました。この間，学会の看板として多くの会員に親しまれ，内容の充実，会員数の増加に伴う発行部数の飛躍的増加となって，土木技術の進展とともに成長して参りました。これもひとえに関係各位のご協力の賜と深く感謝いたしております。学会誌の広告料金は現在下記のとおりですので貴社の広報活動の一つとしてぜひご利用下さるようご案内いたします。

土木学会誌 1 ページあたり広告料金（単位ページ・円）

	表紙 2	表紙 3	表紙 4	後 付	色 紙	繰 込 （持込み）
料 金	70 000	60 000	80 000	50 000	60 000	60 000

* 1/2 ページの場合は半額とする。

第 1 回 環境問題シンポジウム開催と発表論文の募集

土木学会環境問題小委員会は 1970 年 6 月に発足した新しい委員会で，環境問題に対する土木工学のアプローチ法に関して，研究および情報交換を進めてきました。今までの研究成果の発表と，広く情報の交換をするために，下記のように第 1 回シンポジウムを開催することになりました。土木技術者の活動範囲において，環境問題がきわめて重要となってきた事情にかんがみ多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1973 年 12 月 3 日（月），4 日（火）9：30～17：00
2. 場 所：土木学会土木図書館講堂
3. シンポジウムの内容：
 - i) 論文発表
 - ii) 環境問題小委員会の研究報告
4. 発表論文の募集
 - ① 発表論文の内容：次のいずれかのうち最近の研究に属するもので，なるべく総合的な研究でかつ具体的問題が望ましい。
 - i) 環境の定量化（指標の意味とその限界，環境条件の数量的表現法，等について）
 - ii) 環境情報の統計的処理とその方法論（環境データの統計処理およびそれを前提とした観測システムについて）

て)

iii) 環境情報の精度(環境データないし予測値の精度について)

② 応募方法: 論文提出希望者は、1973年9月10日までに氏名・勤務先・職名・連絡先を明記のうえ、邦文約800字の内容梗概を下記にお送り下さい。

宛 先: 土木学会環境問題小委員会 東京都新宿区四谷1丁目(〒160)(電話 03-351-5138)

発表論文の採否は、応募全論文数、発表時間等を勘案して、環境問題小委員会が決定し、すみやかに応募者にお知らせします。

採択された論文の著者は、1973年10月31日までに学会規定の原稿用紙(1600字詰)5枚以内にまとめて提出していただきます。プロシーディングスは、この原稿をそのままオフセット印刷しシンポジウム開催時に配布します。

本州四国連絡橋鋼上部構造に関する調査研究報告書

本州四国連絡橋公団より土木学会が委託をうけた標記研究成果の報告書のうち汎用性のあるものを公団の許可を得て限定出版するもので、今秋着工の本四連絡橋の最新情報で土木学会会員優先です。

記

体裁: A4判・タイポオフセット印刷 上製本 400ページ・4分冊を1セットとして出版

内容: 2. 吊橋主塔設計要領(案)
4. 鋼上部構造用鋼板の所要性能
5. 塗装分科会中間報告書
6. 吊橋のねじり解析

} 分売はしません。

予 価: 4000~5000円程度

予約締切: 昭和48年8月15日ただし予定部数に達し次第締切ります。

配本開始: 昭和48年8月20日以降

予約方法: “郵便はがき”を利用のうえ「本州四国連絡橋鋼上部構造報告書」と明記し、担当者氏名、団体名、連絡先住所、希望セット数を明記して申込んで下さい。

ダム基礎岩盤グラウチング施工事例集お申込みの方へ

先にご予約いただきました標記の図書は、ページ数の増加、資料の追加などにより編集作業に期間がかかり、刊行が大幅遅くれておりますことをお詫びいたします。

現在、最終的となりまとめ作業を終り、印刷・製本中ですので7月末に刊行、8月上旬には配本のご予定ですのでよろしくご了承下さいますようお願いいたします。

なお、現在のところ僅少の残部がでる予定ですのでまだ予約申込みを行っていない方はこの機会にぜひお申込み下さるようご案内いたします。

体裁: A4判 350ページ

内容: 重力ダム26, 中空重力ダム5, アーチダム19, ロックフィルダム7, 合計57のダムを I. 諸元, II. 地質, III. コンソリデーショングラウチング, IV. カーテングラウチングの各項目に分けて図表を豊富に用いてとりまとめたもの。

定 価: 13000円

送 料: 予約申込みをいただいた方は学会負担

“地震応答解析と事例” お求めの方へ

本年2月に刊行しました“地震応答解析と事例”に誤りがありましたので正誤表をつくりましたので必要の方ははがきで下記へご連絡下さい。

連絡先: 160 東京都新宿区四谷一丁目 土木学会刊行物頒布係